

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|----------------------------|---|---------------|--|---|--|-----|---|--------------------|-----------------|----|----------------|---|
| | | めざす成果および戦略 | | | | | | | | | | | |
| | | 計画 | | | | 自己評価 | | | | | | | |
| 項目 | 成果指標と目標値 | めざす状態 | アウトカム | 戦略 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | アウトカムの達成状況 | 前年度 | 個別 | 全体 | 戦略の進捗状況 | 課題 | 今後の対応方向 改善策 | |
| | | | | | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | | | A:順調 B:順調でない | | a:順調 b:順調でない | | | |
| 1 「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 豊かなコミュニティの実現 | | | | | | | | | | | | | |
| ㊦ | 人と人とのつながりづくりの促進 | 身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【こどもの生きる力の向上】こどもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【こどもの生きる力の向上】重点目標 こどもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | 【地域活動力の向上】 これまで地域活動に参加していなかった層の地域活動への参加促進 ・地域活動協議会に新たな地域団体などが参画し、地域が主体となってまちづくり活動に取り組むことができる体制づくりの支援 | ア | こどもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% 95.9% | A A | | a | - |
| (2) 多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現 | | | | | | | | | | | | | |
| ㊦ | 地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援 | 校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【こどもの生きる力の向上】こどもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【こどもの生きる力の向上】重点目標 こどもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | 【地域活動力の向上】 これまで地域活動に参加していなかった層の地域活動への参加促進 ・地域活動協議会に新たな地域団体などが参画し、地域が主体となってまちづくり活動に取り組むことができる体制づくりの支援 | ア | こどもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% 95.9% | A A | | a | - |
| ㊦ | 校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援 | 校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【こどもの生きる力の向上】こどもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【こどもの生きる力の向上】重点目標 こどもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | 【地域活動力の向上】 これまで地域活動に参加していなかった層の地域活動への参加促進 ・地域活動協議会に新たな地域団体などが参画し、地域が主体となってまちづくり活動に取り組むことができる体制づくりの支援 | ア | こどもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% 95.9% | A A | | a | - |

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 具体的取組 | | | | | | | | | |
|---|----------------------------|---|---------------|--|---|--|---|--|--|-----|----|
| | | 計画 | | | | 自己評価 | | | | | |
| | | 項目 | 成果指標と目標値 | 取組内容 | 業績目標 | 撤退基準 | 前年度までの実績 | 取組実績 | 業績目標の達成状況 | | 課題 |
| :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :撤退基準未達成 | :有効 x :有効でないため見直す | | | | | | | | | | |
| 1 | 「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて | | | | | | | | | | |
| (1) | 豊かなコミュニティの実現 | | | | | | | | | | |
| ㊦ | 人と人とのつながりづくりの促進 | 身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3-1] ・地域活動協議会の自立的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を利用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合85% | (i) | |
| (2) | 多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現 | | | | | | | | | | |
| ㊦ | 地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援 | 校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3-1] ・地域活動協議会の自立的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を利用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合85% | (i) | |
| ㊦ | 校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援 | 校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3-1] ・地域活動協議会の自立的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を利用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感じる小学校区等地域の割合85% | (i) | |

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-----------------------|---|--|---|---|------------|---|-----------------|----|-----------------|----|----------------|---|
| | | めざす成果および戦略 | | | | | | | | | | | |
| | | 計画 | | | 自己評価 | | | | | | | | |
| 項目 | 成果指標と目標値 | めざす状態 | アウトカム | 戦略 | 戦略のアウトカムに対する有効性 | アウトカムの達成状況 | 前年度 | 個別 | 全体 | 戦略の進捗状況 | 課題 | 今後の対応方向 改善策 | |
| | | | | | ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | | | A:順調 B:順調でない | | a:順調 b:順調でない | | | |
| (3) 地域資源の循環 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 地域資源が活用されやすい仕組みづくり | 平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【子どもの生きる力の向上】子どもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【子どもの生きる力の向上】重点目標 子どもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | 【地域活動力の向上】 これまで地域活動に参加していなかった層の地域活動への参加促進 ・地域活動協議会に新たな地域団体などが参画し、地域が主体となってまちづくり活動に取り組むことができる体制づくりの支援 | ア | 子どもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% | A | | a | - | - |
| ④ | 地域資源の循環による継続的な地域活動の促進 | 地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 | H29年度までに1件以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【子どもの生きる力の向上】子どもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【子どもの生きる力の向上】重点目標 子どもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | ア | 子どもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% | A | | a | - | - |
| ⑤ | 本市事務事業の社会的ビジネス化の推進 | 社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 | H29年度までに1件以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【子どもの生きる力の向上】子どもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【子どもの生きる力の向上】重点目標 子どもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | ア | 子どもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% | A | | a | - | - |
| (4) 地域公共人材の充実と中間支援組織の活用 | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 地域公共人材の充実と活用の促進 | 地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合 | H29年度までに50%以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【子どもの生きる力の向上】子どもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【子どもの生きる力の向上】重点目標 子どもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | ア | 子どもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% | A | | a | - | - |
| ④ | 中間支援組織の活用 | 多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合 | H29年度までに50%以上 | [3] 【地域活動力の向上】地域団体間で連携・協働し、地域と行政が協働しながら地域課題の解決に取り組んでいる状態 【子どもの生きる力の向上】子どもが「生きる力」を身につけ、自ら大人や友達と関わりを持ち育つことができる状態 | 【地域活動力の向上】地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合:平成31年度末までに60% 【子どもの生きる力の向上】重点目標 子どもたちの「生きる力」につながる学習や意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:平成31年度末までに70% | ア | 子どもたちの「生きる力」につながる学習意欲が高まったと感じる事業参加者の割合:85.8% 地域活動の重要性や役割を理解している区民の割合 | 86.3% | A | | a | - | - |

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------|---|--|---|--|---|--|--|--------------|----|-----|
| | | 計画 | | | | | 具体的取組 | | | | |
| 項目 | 成果指標と目標値 | 取組内容 | 業績目標 | 撤退基準 | 前年度までの実績 | 取組実績 | 業績目標の達成状況 | | 戦略に対する取組の有効性 | 課題 | 改善策 |
| | | | | | | | <small>○</small> 目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった <small>×</small> 目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった 撤退基準未達成 | <small>○</small> 有効 <small>×</small> 有効でないため見直す | | | |
| (3) | 地域資源の循環 | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 地域資源が活用されやすい仕組みづくり | 平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。 | [3-1] ・地域活動協議会の自発的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を活用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合85% | (i) | | |
| ④ | 地域資源の循環による継続的な地域活動の促進 | 地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数 | [3-1] ・地域活動協議会の自発的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を活用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合85% | (i) | | |
| ⑤ | 本市事務事業の社会的ビジネス化の推進 | 社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数 | [3-1] ・地域活動協議会の自発的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を活用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合85% | (i) | | |
| (4) | 地域公共人材の充実と中間支援組織の活用 | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 地域公共人材の充実と活用の促進 | 地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感ずっている区民の割合 | [3-1] ・地域活動協議会の自発的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を活用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合85% | (i) | | |
| ④ | 中間支援組織の活用 | 多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感ずっている活動主体の割合 | [3-1] ・地域活動協議会の自発的・継続的な活動を支援する仕組みとして、よりきめ細やかな広報活動に対して支援し、広く地域住民に地域活動のPRを行い参画を促す。 ・地域活動協議会の活動に新たな参加者を増やすため、区役所職員等が地域活動の取材を行い、区ホームページを区内広報板等を活用して広報するとともに、地域活動協議会自らの広報活動に対しても中間支援組織とともに支援する。 ・全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合30%以上 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合60%以上 | 15%未満であれば、事業を再構築する。 30%以下であれば、手法を再検討する。 | 平成26年度実績 ・地域活動協議会の運営支援 全22地域 ・地域担当制の体制の再構築 平成25年度実績 ・地域活動協議会の設立支援 全22地域 | ・中間支援組織の支援により、地域におけるホームページやブログなどのSNS開設・情報発信を推進した。 ・広報「ひらの」、地域情報フェイスブックにおいて、区役所職員の取材をもとに地域活動を広く区民へ情報発信を行った。 全22地域 | 地域活動協議会の活動に参加したことがある区民の割合55.9%(地域活動協議会の活動を知っている方) 区役所の支援が地域にとって適切であると感ずる小学校区等地域の割合85% | (i) | | |

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 めざす成果および戦略 | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-----------------------------|---|----------------|---|---|--|-----|---------|---|----|----------------|---------------------------------|-------------------------------|
| | | 計画 | | | 自己評価 | | | | | | | | |
| | | めざす状態 | アウトカム | 戦略 | 戦略のアウトカムに対する有効性 ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す | アウトカムの達成状況 | 前年度 | 戦略の進捗状況 | | 課題 | 今後の対応方向 改善策 | | |
| 個別 | 全体 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 「自律した自治体型の区政運営」に向けて | | | | | | | | | | | | |
| (1) | 区における住民主体の自治の実現 | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信 | 区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信できている状態 | 窓口サービス満足度:70%以上(平成29年度) 区政情報の入手経路が区が発信する広報媒体の割合:70%以上(平成29年度) | 区民(来庁者)の意見や要望についての的確に把握し、迅速な対応により窓口における満足度を高める。 区民が必要とする情報が、区の広報媒体より入手できるよう情報発信を強化する。 | A | 93% | A | A | a | | |
| | | 区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特長や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合 | H29年度までに60%以上 | | | | | | | | | | |
| | | 区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合 | H29年度までに60%以上 | | | | | | | | | | |
| ④ | 区民の参画と協働による区政運営 | 区役所が、区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信できている状態 | 地域の防災・防犯、高齢者やこどもの見守りなどの活動が重要であると感じる区民の割合:80%(平成29年度) | 区の実情に応じた施策を展開し、区民の参画と協働による区政運営を進める。 | A | 87.3% | A | A | a | | |
| | | 区役所が、区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | | | | | | | | | | |
| (2) | 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 区における市政の総合窓口機能の充実 | 過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合 | H29年度までに80%以上 | 区における市政の総合窓口機能の充実させ、区民の満足度が高い状態 | フロアマネージャーのサービス満足度:80%(平成29年度) | 地域に根ざした信頼される区役所づくりを進める。 | A | 95% | A | A | a | これまでの取組の成果を踏まえ、さらに一歩上を目指す必要がある。 | 何事も区民の立場で考え、丁寧でわかりやすい説明を心がける。 |
| | | 区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 | H29年度までに80%以上 | 庁舎案内や窓口業務におけるサービスに対して、区民の満足度が高い状態 | フロアマネージャーのサービス満足度:80%(平成29年度) | 地域に根ざした信頼される区役所づくりを進める。 | A | 95% | A | A | a | これまでの取組の成果を踏まえ、さらに一歩上をめざす必要がある。 | 何事も区民の立場で考え、丁寧でわかりやすい説明を心がける。 |
| (3) | 区民が満足・納得できる区役所運営 | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上 | 区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 | H29年度までに80%以上 | 庁舎案内や窓口業務におけるサービスに対して、区民の満足度が高い状態 | フロアマネージャーのサービス満足度:80%(平成29年度) | 地域に根ざした信頼される区役所づくりを進める。 | A | 95% | A | A | a | これまでの取組の成果を踏まえ、さらに一歩上をめざす必要がある。 | 何事も区民の立場で考え、丁寧でわかりやすい説明を心がける。 |
| | | 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数 | H29年度までに3.5点以上 | | | | | | | | | | |
| ④ | 区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営 | 効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 【様式3 取組項目3】 各課において、それぞれの業務を遂行するにあたって、本来めざしている目的や効果(ミッション)について職員一人ひとりが理解し行動できるよう働きかけることにより、新たな業務に挑戦できる職員づくりを行う。 | 職員のやりがい度調査において、「仕事にやりがいを感じている」もしくは「ある程度やりがいを感じている」と回答した職員の割合92%以上(平成28年度末) 職員提案への提案件数 3件 | 各課のミッションを職員間で共有し、他課の業務を理解することができるよう、発表等の場を設定する。参加できなかった職員に対しても、庁内情報サイト等を活用し、情報の共有を図る。 | - | - | - | - | - | | |

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(平野区)

| 豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針 | | 平成28年度 | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|----------------|---|--|--|--|---|--|---|--------------|-------------|--|--|--|
| | | 計画 | | | | | 具体的取組 | | | | | | | | |
| | | 項目 | 成果指標と目標値 | 取組内容 | 業績目標 | 撤退基準 | 前年度までの実績 | 取組実績 | 業績目標の達成状況 | | 戦略に対する取組の有効性 | 課題 | 改善策 | | |
| :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | | | | | | | | :有効 | :有効でないため見直す | | | | | |
| 2 | 「自律した自治体型の区政運営」に向けて | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) | 区における住民主体の自治の実現 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信 | 区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 区民モニターの分析結果を担当部署にフィードバック 無作為抽出した区民あてアンケート調査の実施 2回/年 | 区民モニターの分析結果を担当部署にフィードバックできた割合:100% 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が30%未満であれば、手法を再検討する。 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 左記目標が30%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 100% 29% 69.9% 平成26年度実績 100% | 無作為抽出した区民あてアンケート調査の実施 2回/年 区政会議の小グループの意見交換会の開催 4回/年 広報戦略委員会を計画通り、年12回開催 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |
| | | 区民の参画と協働による区政運営 | H29年度までに60%以上 | 区政について立案段階からの意見の把握、区政の実績やその成果の評価にかかる意見の聴取 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:29% | 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |
| | | 区役所が、区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 区政について立案段階からの意見の把握、区政の実績やその成果の評価にかかる意見の聴取 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:29% | 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |
| (2) | 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 区における市政の総合窓口機能の充実 | 過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合 | H29年度までに80%以上 | 窓口サービスの提供 通年 | 窓口サービス満足度:70%以上 | 左記目標が50%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 窓口サービス満足度:93% 平成26年度実績 窓口サービス満足度:89% | 区民サービスの充実や事務事業の適正化のための取組を実施 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 窓口サービス満足度:95% | | |
| | | 区役所が、区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 区政について立案段階からの意見の把握、区政の実績やその成果の評価にかかる意見の聴取 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:29% | 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |
| (3) | 区民が満足・納得できる区役所運営 | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ | 庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上 | 区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 | H29年度までに80%以上 | 窓口サービスの向上 ワークライフバランス研修の実施 人権研修の実施 サービス研修の実施 コンプライアンス研修の実施 「ひらめき”ひらちゃん”職場改善チーム会議の開催 各1回以上 | 来庁者等に対する窓口サービス格付結果:3.5以上 | 左記目標が3.0未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 来庁者等に対する窓口サービス格付結果:3.3 平成26年度実績 来庁者等に対する窓口サービス格付結果:3.2 | ワークライフバランス研修の実施 1回(7月~8月) 人権研修の実施 1回(12月) サービス研修の実施 1回(1月) コンプライアンス研修の実施 1回(1月) 「ひらめき”ひらちゃん”職場改善チーム会議の開催 7回(9月~2月) | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 来庁者等に対する窓口サービス格付結果:3.2 | | |
| | | 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数 | H29年度までに3.5点以上 | 区政について立案段階からの意見の把握、区政の実績やその成果の評価にかかる意見の聴取 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:29% | 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |
| ④ | 区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営 | 効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 【様式3 取組項目3】 ミッション交流会(プレゼンテーション)の開催 | 職員のやりがい度調査において、「仕事にやりがいを感じている、もしくはある程度やりがいを感じている」と回答した職員の割合 92%以上(平成28年度末) 職員提案への提案件数 3件(平成26年度実績 1件) | 職員提案への提案件数(平成26年度実績 1件) | ミッション交流会(プレゼンテーション)の開催 6月 | 「仕事にやりがいを感じている、もしくはある程度やりがいを感じている」と回答した職員の割合(職員アンケート調査結果) 7~8月 ワーク・ライフ・バランス研修時...75% 1月 サービス・コンプライアンス研修時...69.5% 職員提案への提案件数 0件 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 取組は予定どおり実施したが、前年度に比べて職員個人の業務量や負担感が増加したことで、やりがい度も下がったと考えられる。今後、職員のやりがい度を維持・向上させていく継続的な取組が必要である。 | イクボス宣言()を行った区長を先頭に組織全体で、業務の選択と集中の確実な実践、ワーク・ライフ・バランスのさらなる推進による多様なライフスタイルの尊重、上司から部下の状況への意識を高め、大小問わず努力に対してほめることの実践など、職員一人ひとりが自分の時間を大切にでき、職場からも大切に想われていると実感できるような職場改革を進めていく。()部下や同僚等の育児や介護・ワークライフバランス等に配慮・理解のある上司のこと | |
| | | 区役所が、区民の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 | H29年度までに60%以上 | 区政について立案段階からの意見の把握、区政の実績やその成果の評価にかかる意見の聴取 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:60%以上 | 左記目標が20%未満であれば、手法を再検討する。 | 平成27年度実績 区政会議において活発な意見が述べられたと感じる委員の割合:29% | 区政会議の小グループ形式の意見交換会の開催 4回/年 | :目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組は予定どおり実施しなかった | :有効 | :有効でないため見直す | 小グループの意見交換会が定着したことにより、業績目標は昨年実績より大幅に改善したものの、今以上に区政会議において委員間で活発に意見交換できるよう、アンケート結果などを踏まえて発展的な取組が必要である。 | 区政会議の小グループの意見交換会を単独開催するなど、委員が意見を述べやすい環境づくりを行っていく。 | |